

祝

令和5年

富津市二十歳の集い

令和5年1月8日(日)



WE  FUTTSU

会場 富津市富津公民館大ホール

開式 午後2時(開場午後1時15分)

主催 富津市・富津市教育委員会・

富津市二十歳の集い実行委員会

式次第

- 一．開式のことば 佐生 龍正
- 一．国家演奏 齋藤 菜々実
- 一．主催者代表式辞 富津市長 高橋 恭市
- 一．来賓祝辞
 - 防衛大臣 衆議院議員 浜田 靖一 様
 - 千葉県議会議員 吉本 充 様
 - 富津市議会議長 石井 志郎 様
- 一．主催者および招待者紹介 千葉 未岬
- 一．祝電披露 濱岬 華乃
- 一．実行委員長挨拶 中山 心路
- 一．記念行事「Futtsu Twenty」
- 一．閉式のことば 茂木 俊輔
- 一．地区別記念写真撮影

お祝いのことば

輝かしい新春のもと、二十歳の集いを迎えられた皆さん、おめでとうございます。また、ここまで育て上げられました保護者の皆様に深く敬意を表します。

昨年4月の民法改正に伴う成年年齢の引き下げにより、法律的な権利と義務を与えられ、すでに皆さんは名実ともに大人の仲間入りをされています。本日の式典を契機に、自ら責任を持ちつつ、夢と希望に向かって更に飛躍していただければと思います。



一方で社会に目を移すと、日本では加速する少子高齢化による人口減少、世界では環境汚染や食糧難などの取り組むべき課題が数多くあります。

このような中、富津市では令和4年度を「富津市みらい構想元年」として「住みたいまち」、「選ばれるまち」を目指し、国連が採択した国際目標であるSDGsに掲げられている「パートナーシップで目標達成」の理念を元に、市民の皆さんとともに知恵を出し合い、市民の皆さんが誇りと愛着を持てる富津市づくりに全力で取り組んでおります。

その課題解決に向け、世界が団結し、誰一人取り残さない社会を創ることを掲げている中、皆さんには若さという今しかない武器をもとに、たくさんの方の事を学び、吸収し、繋がり、高めながら、SDGsを目指す時代の主役へと大きく成長されることを期待しています。

一人ひとりを取り巻く環境が良い時も悪い時も、人生の先輩である我々は皆さんを応援していますので、若い力を原動力に様々な分野に恐れず果敢にチャレンジしてほしいと思います。

そして皆さんにお願いがあります。生まれ育った人の温もりあふれるふるさと富津市を好きでい続けてください。富津市は、都心からほどよい距離のちょうどいい田舎であり、日本遺産候補地域である鋸山や南北に長く広がる海岸線などの誇れる自然、これらから先人が築き上げた素晴らしい伝統や文化があります。

富津市にお住まいの方はこの環境のもと、ますますふるさとで活躍していただき、市外にお住まいの方は時折ふるさとを思い起こして足を運んでもらえるとうれしく思います。

結びに、本日ご出席の皆さんのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和5年1月吉日

富津市長 高橋 恭市

二十歳の皆さんへ

20歳を迎えられた皆さん、おめでとうございます。

久しぶりに友達と会い、懐かしさでいっぱいのことと思います。楽しかった小学校の思い出、仲間と汗を流した部活動、友と競った体育祭、気持ちをひとつにして歌った合唱など多くの思い出が浮かんで来たでしょうか。

世界中がコロナ禍で、この3年間は大変不自由な生活を経験しました。まだ状況は安心できませんが、WITHコロナとして、乗り切って生活していこうとしています。

そのような中、「二十歳の集い」が実行委員の皆さんのご尽力で、開催されることを大変うれしく思います。

皆さんが生きて来たこの20年は、科学技術の急速な進歩により、情報通信等が著しく発達してきました。

そのような社会を生き抜き、社会の主人公として活躍される皆さんに、是非とも心にとめておいてほしいことは、「人と人との温かい心のつながり」です。

富津市は「人と人がつながる あったかふつつ」というフレーズでまちづくりを進めています。理不尽な他国への侵略行為や大規模な自然災害、悲惨な人権侵害事件などが毎日のように報道されていますが、そのような状況だからこそ、人を思いやる気持ちを持って、人と人が温かい心でつながることが大切だと思います。

宮澤 章二氏の「行為の意味」という詩に、『心は見えないけれど心遣いは見える。胸の中の思いは見えないけれど、思いやりは見える。あたたかい心があたたかい行為になり、やさしい思いが、やさしい行為になるとき、心も思いも初めて美しく生きる。それは人が人として生きることだ。』とあります。

これからの変化の激しい時代の中で、幾多の災害や困難に遭遇しても、ふるさと富津市で育ち、学んだことを誇りに、思いやりの心を持ち、思いやりの心を行動に移せる人として、自信をもってこれからの人生をしっかりと歩んでください。

皆さんのご活躍とご多幸を祈念いたします。

令和5年1月吉日

富津市教育長 岡根 茂



実行委員からの一言メッセージ

実行委員長 中山 心路（富津中学校出身）

実行委員長の中山心路です。私達の生まれ育ったここ富津市で、二十歳を迎える事ができたこと、大変嬉しく思います。本日行われる、「二十歳の集い」では、良き友と懐かしきあの頃を思い出し、これから先の人生についても考え、語り合えるような式典にしたいと考えています。



新型コロナウイルスによる感染拡大が危惧される中ではありますが、多くの皆様方に我々の門出を祝って頂ければ幸いです。宜しくお願い致します。

副実行委員長 佐生 龍正（大貫中学校出身）



私たちは今日、二十歳の集いという人生の節目と素晴らしい門出を迎えることができました。

こうして無事に二十歳を迎えることができたのも、たくさんの愛情を注ぎ、支えてくれた家族やお世話になった先生方、温かく見守ってくださった地域の皆様のおかげであることに、深く感謝しています。学生や社会人など立場はさまざまですが、明るい将来に向けて、日々の努力を怠らないよう共に頑張りましょう。素晴らしい式典になるよう精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。

実行委員 松下 桜大（富津中学校出身）

コロナウイルスや成年年齢の引き下げによって僕たちの二十歳の式典はどうなるのかと不安でしたが、今日二十歳の集いとして式典を迎えることができ嬉しく思います。

中学校を卒業後、皆さんがそれぞれ違う場所で成長してきたと思います。本日は富津市を地元とする同世代が一堂に会し、自分たちの少年時代を振り返り、また前を向いて歩いて行ける気持ちになれるような式典になればと思います。



実行委員 齋藤 菜々実（富津中学校出身）



本日はおめでとうございます。まだまだコロナウイルスの影響が続く中、思い出が詰まったこの富津市でみんなと二十歳の集いを迎えられ、とても嬉しく思います。

この機会にお世話になった方々へ感謝の気持ちを伝えましょう。みなさんの心に残る素敵な式になるよう精一杯頑張りますので、よろしく申し上げます。

実行委員 種市 望里（大貫中学校出身）

本日は、「二十歳の集い」を無事迎えることができ嬉しく思います。二十歳という人生の節目に原点に帰り、新しい道へと踏み出す原動力をつけて頂ければと思います。

また、皆さんに少しでも良い式だったと思っていただけるように精一杯進行させていただきます。よろしく申し上げます。



実行委員 伊藤 大夢（佐貫中学校出身）

本日の式典おめでとうございます。現在もコロナウイルスで先の読めない状況が続いていますが、本日、式典を迎えられたことを嬉しく思います。皆さんの人生の節目である今日を素敵な一日にできるよう、精一杯努めさせていただきます。よろしくお願いいたします。



実行委員 千葉 未岬（天羽中学校出身）



私たちは、コロナによって社会が止められ、そんな中で青春を送っている世代です。様々な制限の中で多感な時期を過ごした分、私たちが潜在的に持ちうる力は、間違いなくどの世代よりも強いです。旧態依然の富津に活気を与える力があります。

感謝の気持ちを忘れずに、「今しかできないこと」全てに挑戦しましょう。最後になりましたが、この式典を開くにあたり関わってくださった全ての皆様に感謝申し上げます。

実行委員 濱崎 華乃（天羽中学校出身）

思い出と共に感じる懐かしさや成長、支えとなってくれた方への感謝、二十歳という節目を迎えた自分に対する思い、今日の二十歳の集いを通して感じることは、きっと人それぞれだと思います。



そして改めて今歩んでいる道を見つめ、皆さんにとって、これからの人生の更なる活力へ繋がる様な1日になることを願っています。本日はおめでとうございます。

実行委員 茂木 俊輔（天羽東中学校出身）



二十歳という人生の大きな節目を皆さんと迎えることができ大変嬉しく思います。

今までお世話になった方々の支えがあったからこそ、今日の二十歳の集いを迎えることができました。本当にありがとうございます。

今日は実行委員として皆さんの大切な思い出を作れるように精一杯努めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

実行委員 茂木 彩奈（天羽東中学校出身）

二十歳を迎えられた皆さんおめでとうございます。今日、この日を迎えられたのは、家族、友達、お世話になった先生方やたくさんの方々の支えがあったからこそです。

この方々への感謝の気持ちを忘れずに、今日という素敵な一日を楽しみましょう。

また、新型コロナウイルスの影響で多くの制限がある中ではございますが皆さんの心に残る二十歳の集いになるよう精一杯努めさせていただきます。よろしくお願いいたします。



富津市民憲章

美しい海と山にかこまれ、緑と太陽に恵まれた、文化遺産豊かな歴史のふるさとに住むわたくしたち富津市民は、生々発展する新しいまちづくりのために努力することを誓って市民憲章を定めます。

- 1 恵まれた自然を生かし、美しいまちをつくりましょう。
- 1 友愛と感謝の気持ちで、明るいまちをつくりましょう。
- 1 としよりや子どもを大切にし、幸せなまちをつくりましょう。
- 1 健康で仕事に励み、豊かなまちをつくりましょう。
- 1 教養を高め、文化の香り高いまちをつくりましょう。

昭和49年10月1日制定

富津市家庭憲章

次代を担う青少年が健やかにたくましく育つことは、われわれ市民の共通した願いです。その願いを込めて、この富津市家庭憲章を市民運動として展開し、明るく健康的な家庭をつくりましょう。

- 1 あいさつは、きちんとはつきりいましょう。
- 1 家庭では、なんでも話しあいましょう。
- 1 心と体をきたえ、みんなでなかよくしましょう。
- 1 感謝と奉仕の心をもちましょう。
- 1 社会のきまりを守り、責任のもてる行動をしましょう。

昭和59年2月制定



富 津 市

富津市教育委員会

富津市二十歳の集い実行委員会